

しるつめ草

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tsuoka/>

横浜市立都岡中学校

旭区川井宿町32-2

電話045-953-2301

令和5年5月26日発行 第2号



SDGs

校長 佐久間桂一

学校を覆うように茂っている木々も青々とし、初夏を感じさせる季節となりました。昼休みのグラウンドで遊びまわる生徒を見ていると心が晴れやかになります。

5月8日からコロナウイルス感染症が5類となり、学校でもインフルエンザ感染と同じ扱いとなったことを受け、コロナウイルス感染拡大前の教育活動の時と同じような活動内容で、3年生は、京都・奈良の修学旅行。2年生は、戸狩での自然教室。1年生は、足柄の遠足と旅行的行事を全学年5月に実施することができました。生徒たちの活躍の場面や笑顔に触れると行事の大切さを実感します。

さて、よく”SDGs”という言葉を知っていますが、日本語でいうと「持続可能な開発目標」になります。なんだか難しい言葉ですね。簡単に言えば、世界の人たちが、これからもずっと幸せでいられるための目標のことです。”SDGs”には、2030年までに、こんなふうに変えようという17の目標があります。その最初の二つに挙げられているのは、

- ①住む家も無いような、たいへん貧しい人たちをなくすこと、
- ②そして食べるものがなくてお腹を空かしている人たちをなくすことです。

これらを考えた時以前、あるテレビで放映されたドキュメンタリー映画の内容を思い出しました。アジアの国の子どもたちを取材したものでした。見渡す限りのごみの山の中で、中学生か小学生くらいか、それよりも小さい子どもたちが働いていました。ごみの中から金属や、まだ使えそうなものを探して、リサイクルショップなどでお金に変えます。毎日8時間から10時間働いて、もらえるお金は100円くらい。ですから、ご飯が食べられるのは一日に一回だけです。着るものもなく裸のままの男の子もいました。取材していた日本人の記者が、子どもたちにインタビューしていました。「あなたの将来の夢はなんですか？」一人の女の子の夢は、「大人になるまで生きていること」でした。そこでは、15歳になるまで生きられる子どもは3人に1人しかいないのだそうです。「夢はありません。」と答える子もいました。多くの子どもたちの夢は、「一度でいいから、お腹いっぱい食べてみたい」でした。夢を語る時の子どもたちの笑顔が素敵でした。そして、10人ほどの子どもたちを集めて取材した時、一人ひとりにお弁当が配られました。そのフタを開けた時、どの子どもも大喜びで飛び跳ねて、「こんなごちそう、生まれて初めて見た！」と大騒ぎになりました。でも次の瞬間、みんなそのお弁当のフタを閉じました。お弁当を配った日本人スタッフにはその意味が分からず、不思議に思っていると、一人の女の子が言いました。「おじさん、お願いがあります。こんなごちそう、自分一人では食べられません。家族のところに持って帰っていいですか？」そこにいた子どもたちは、みんな同じ気持ちだったそうです。生きるだけで精一杯の貧しさの中でも、家族を思いやる気持ちの美しさ。そんな子どもたちが、大人になるまで生きられるような世界になって欲しいと願わずにはられません。この話から何を学ぶかは一人ひとり違っていいと思います。何かを感じてくれたらうれしいです。SDGsには、他にも15の目標があります。調べてみていいと思います。そして、自分たちができる事をみんなで一緒にできたら最高です。

この時期は、五月病と言われる心身に不調をきたす時期です。学校でも全教職員で子どもたちの様子の変化を見逃さないようにしていますが、ご家族が一番わかると思います。何かあればご相談ください。

地域の皆様には、日頃から生徒たちを気にかけていただき有難うございます。今後ともよろしくお願ひします。

○遠足の様子（1学年主任 村田 絵美）

5月16日(火)、晴天に恵まれ、とてもきれいな青空の下、神奈川県南足柄市で、Project Ashigara Adventure21 研修(PAA21)を体験してきました。このPAA21とは、一人では解決できない課題に対して、仲間と協力してどうしたら解決・達成できるのか考え、話し合う中で、人としての成長を促したり仲間との絆を深めたりする活動です。

当日は、なかなか達成できない課題に対して、「頑張れ」「ナイス」「どんまい」など、仲間と積極的に声を掛け合いながら取り組むことができ、充実した時間を過ごすことができました。また、課題を解決していく中で、「良かったこと」や「良くなかったこと」を、自分の手形とともにボードに記入しました。生徒の振り返りの中には、「一人じゃできないことでも、声を掛け合って、仲間と協力すればできた。」や「何かをやる前から諦めたりしないで、何事も挑戦することが大切だと思った。」など多くの前向きな感想が書かれていました。

今後の学校生活や日常生活の中でも、このPAA21での学びを生かしていってくれることを期待しています。



○第2学年の様子（2学年主任 長浜 大樹）

赤学年では、4月に新しい仲間や先生との出会いを経て、充実した毎日を過ごしています。さらに中を深めようと「飛躍～114人の絆～」のスローガンのもと、自然教室を心待ちにしていました。5月23日(火)から25日(木)にかけて、長野県戸狩方面で実施しました。自然教室のご報告は、6月にさせていただきます。自然豊かな体験を通して生徒たちの気持ちが、前向きにのびのびとなるように願っています。生徒とともに過ごした3日間を大切にしながら学年職員も一步一步成長していきたいと思えます。

○修学旅行の様子（3学年主任 香田 真希子）

今回の宿泊行事は「コロナ禍後」の修学旅行であることを深く感じました。生徒の皆が何より楽しみだったのは、宿泊そのものだったと思います。

新幹線の車内で、おやつやカードゲームを楽しむ姿、座席を回転させる姿に、大人の誰もが感動して見っていました。また、今回は一般の方も乗車する近鉄特急や急行電車に乗り、地元の方の関西言葉にも触れました。奈良公園では、鹿に鹿せんべいを見せて追いかけられ、班行動の時間を使って春日大社にお参りしました。京都では、タクシーでの班行動でたくさんの外国人に出会い、とまどうことも多かったようです。運転手のおすすめに従って、見学地を増やす班もありました。今回の宿泊旅館「金波樓」では夕食朝食とも大変おいしく、部屋食でいただくことができゆったり過ごすことができました。

修学旅行が終わり、いよいよ最高学年として都岡中学校の柱となり活動していきます。気持ちを引き締めて、一つ一ついねいに活動をしていきたいです。



○5・6・7組の様子（5・6・7組担任 田島 彰子、辻村 大輝、鈴木 晴美）

今年度の5,6,7組は、3名の1年生を迎え、15名となりました。互いに思いやり、助け合いながら学んでいきたいと、①相互扶助②試行錯誤という学級目標をたてました。今年度は合同体育祭、学芸会だけでなく、個別支援学級の合同宿泊学習も予定されています。多くの行事と出会いを通じて、子どもたちとともに学んでいきたいと思えます。

《サッカー部 横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会 C ブロック予選ベスト8！！》

（サッカー部顧問 伊藤 弘貴、西川 秀浩、小田喜 通隆）

4月29日(土)、都岡中学校グラウンドにて、横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会 C ブロック予選の3回戦が行われました。領家中学校に前後半0-0のまま、延長戦でも決着がつかず、PK 戦の末勝利を掴むことができました。惜しくも次戦の旭中学校には敗北してしまいましたが、この結果、都岡中学校では数十年ぶりにサッカー部で夏の市総体のシード権を得ることができました。県大会出場を目指して日々の練習から「全力」で練習に取り組んでいます。引き続き、都岡中学校サッカー部の応援をよろしくお願いいたします。



《食行く…給食 TIMES より》（副校長 稲垣 周平）

6月2日は開港記念日です。1859年の開港によって、横浜にはたくさんの外国人や異国文化が入ってきて、食文化も大きく変化しました。開港後、西洋人が生でも食べられる西洋野菜の栽培を横浜ではじめ、日本中に普及したそうです。横浜市は、開港150周年を記念して横浜で初めて作られた西洋野菜14種類を「横浜開港菜」と名付けました。トマトやカリフラワー、セロリなどなど、野菜以外にも食パンやアイスクリーム、ケチャップも横浜からだそうです。6月の給食献立にも横浜開港菜がいっぱい入っています。

6月の主な行事予定



| | | | |
|--------|-----------------|---------------|----------------|
| 1日(木) | 内科検診(個別・1年・2-1) | 14日(水)～16日(金) | 第1回定期テスト |
| 2日(金) | 開港記念日 | 22日(木) | 内科検診(2-2、3・3年) |
| 5日(月) | 青春の集い | 23日(金) | 生徒総会 |
| 9日(金) | 心電図検査(1年) | 26日(月) | 青春の集い・第1回進路説明会 |
| 10日(土) | 学家地連総会・学校運営協議会 | 28日(水) | 放課後学習会 |
| 12日(月) | 全校朝会 | 29日(木) | 歯科検診(1-3、4・3年) |